

声優西山宏太郎さん 声優大久保瑠美さん の語る千葉科学大学

千葉科学大学新聞

千葉科学大学の学生や卒業生 その物語を有名声優がドラマにして語る



西山宏太郎さん

千葉科学大学入試広報部の公式サイト、「千葉科学大学の日常」が話題だ。
千葉科学大学の学生や卒業生の日常や、今まで苦労したこと、そして千葉科学大学の日常や、卒業生ならば仕事をしているときの心構えなどを、物語にして、声優の西山宏太郎

さんと大久保瑠美さんが語っているのだ。
西山宏太郎さんと言えば、アイドリッッシュセブンの棗巳波役など、出演多数の売れっ子声優ですし、また、大久保瑠美さんもスイートプリキュア♪の調辺アコ/キュアミューズ役ですっかりおなじみだ。

発行 千葉科学大学
入試広報部
発行人 田中良
編集人 宇田川敬介
漫画 快晴のおさる



大久保瑠美さん

その「おなじみ」の声で、千葉科学大学の学生や卒業生の物語を語ってもらえるのだ。
何とも羨ましい話ではないか。昨年の青澄祭に、このお二人の声優が来てくれて、千葉科学大学の人々と触れ合い、そのことから、今回の話が実現したものだ。

第七話 QRコード



今回は、写真の編集などの都合で、救急救命士の心得は「正解はないけど、完璧はない」という物語と、「命を助ける現場に性別も理由もいらない」という、保健医療学科救急救命士のコースのお二人の物語が最初にアップされた。もちろん写真は、千葉科学大学の日常がよくわかるものばかりだ。
千葉科学大学の人も、また、これから千葉科学大学を目指す人も、これからアップされる動画で本学の様子がよくわかるようになるし、また、学生や卒業生のみんなは、自分の物語が出てくる可能性もあるのだ。

第八話 QRコード



第七話の涼太君のご両親は、この動画を見て「こんなに立派になってしまったとか。人はだれでも物語がある。その物語を、是非、素晴らしい声で語ってもらってはいかがでしょうか。

卒業する君へ 東祥三学長インタビュー

三月二十五日は、千葉科学大学の学位授与式いわゆる卒業式となる。そこで、今回は卒業する君へと題し、東祥三学長に学長となっの一年間を振り返って、改めてお話を伺ってみた。インタビュアーは、薬学部の和泉君と矢野君、そして大徳先生にご一緒いただいたのインタビューである。

学長の一年を振り返って

学生：学長になって今年一年を振り返っていかがでしたか
東：いい質問だねえ。「教える」ということを深く考える一年になりました。実際先生が学生に教えるという話ばかりではなく、例えば、一番身近にいるはずの自分の子供や孫であっても、自分の思ったように育たないし、教えることはできないのです。

しかし、それは全てを記憶させるような話ではなく、興味を持たせて、自分で学べるようにしてあげることが最も重要ではないかと、今はそのように考えています。

学生：学長は海外の生活が長かったと聞いていますが、海外の学びと日本の学びは違うのでしょうか
東：そりゃ、全く違うよ。日本ではいかに知識を増やすかというのと、つまりは暗記を行うことを教育の基本にしていますね。もちろん知識を組み合わせなければ色々なことができないのですが、しかし、知識が全てではなく多くある人間の能力の一つではないのです。他にも創造力や応用力、臨機応変に対応する能力や決断力など、必要な能力はたくさんあります。

Aーなどは、知識の宝庫ですが、しかし、映画を見たり小説を読んだり感動はしません。エモーショナルがないし、感じることはないでしょう。

日本の教育はAーを作るには良いのかもし

れませんが、他の大事な能力を学べないことになる。しかし、欧米は全く異なります。欧米は知識よりも大事なことを教えますから、知識だけでは解けない問題が出てくるのです。当然に日本人の優秀な人は良い成績にならないのです。逆に、欧米の優秀な人が、知識ばかりの日本の試験を受けても合格できないかもしれません。

この事は、日本はノーベル賞をとっても、応用とか改良ばかりで新しいものを創造するということはほとんどありません。それは何故なのか。そういうことを考えなければなりませんね。



学生：それにしても、学長って、以外と話しやすいですね。
東：なんだそれは。そんなに話しくらうだったかな。
学生：いや、学長はオーラがあって話しくい感じが立ったのですが、実際に話してみると、親しみやすいですね。
東：人って、実際に会ってみないとわからないんだよね。知らないのに、イメージで考えてしまう所があるんですよ。でも本当は違うという事はよくあるんです。今日は良い経験をしましたね。
学生：では卒業生や在校生にメッセージはないでしょうか。
東：ない。実は学生と先生の違いってそんなにないと思ってるんです。人生は知らないことを知り、理解した時に人生の楽しさを味わえるのです。私は様々な経験をしましたが、



しかし、皆さんの世代の感覚というのはいくらも未知でわからない。だからこうやって話をしてわかってゆくことが楽しいのです。

私はやりたいことをやる事ができることが、最も良い人生ではないかと思っっています。逆に、君たちは、どんな人を尊敬しますか。矢野君：僕は、新しい

物を作って人の役に立つ人がすごいと思います。東：でもそれは、本当に役に立ったかどうか、結果論でしかないよね。新しい物を作ることはすごいが役に立つかどうかはわからない。それで君は。

和泉君：僕は、自分を育ててくれ薬剤師になることを勧めてくれた

意見よりも行動せよ

恩師を尊敬しています。東：わからないことをわかるように説明できるといふことはすごいよね。理解できない人に理解してもらおうという事は楽しいことな

君たちは薬学部だから将来薬剤師を目指していると思うけれども、国家試験に合格したらそれで薬剤師になったというのではありませぬね。もちろん薬剤師になるためには、暗記も必要です。しかし、本物の薬剤師とは何か。大昔は、薬剤師の国家試験などなくても薬草を煎じて、経験的に薬を使っていたのです。知識をもとに意見を

銚子でのお花見事情

卒業式、入学式と言えば「桜」です。森山直太郎さんなど桜を題材にした卒業の歌も少なくありません。

さて千葉科学大学には、日本でも珍しいソメイヨシノの木が一本も無い大学です。

これは海風が強いため桜が育たないの、仕方がありません。



陣屋町公園



小見川城山公園の桜

は、銚子市にはどこで桜が見ることができますか？と聞かれると、実は、陣屋町公園などがあります。が、それでも規模は小さいようです。

銚子の人は、隣の小見川城山公園が花見の名所とされているようで、そちらに行く人も少なくないようです。

花は心の目で見るもの、松尾芭蕉の言葉が染みてきます。

調子よく銚子

実は今年度の入試広報部長 千葉科学大学新聞発行人 保健医療学科 田中良研究

実は、令和四年度 この千葉科学大学新聞を発行し始めた時の入試広報部長は、危機管理学部保健医療学科の田中良教授。

今まで、ご自身が入試広報部長であったということから、田中先生について全く特集しませんでした。今年度の終わりに、田中先生の研究室を研究してみたいと思います。

田中先生は、愛知県出身。少なくとも中学まではかなり勉強が嫌いで全く勉強はしなかったのです。

高校進学を考える時も勉強は全くしないつもりで、芸術系の高校に進学し、毎日画を書いて過ごしていたのです。その為に今でも勉強をしたくない人や、勉強に全く興味のない人の気持ちがよくわかるので、ちょっと勉強

が苦手な人が研究室に集まります。それでも楽しい毎日をごせるのがこの研究室の特徴



なのです。

そんな「勉強嫌い」で、芸術ばかりをしていた田中先生。ご両親の十万円上げるからという言葉に踊らされて、現在で言う診療放射線技師の専門学校に進んだのです。

しかし「やる気がない」のは、専門学校に行っても同じ。毎日勉

強もせずに遊んでいた

ので、成績も学校内で最下位をキープしていたのです。

ある日突然スイッチが！

そんなある日、「俺、このまま死んじやうの嫌だな」と思ったとき、何か頭の中でスイッチが入ったのでした。

それほど毎日が荒んでいたのでしょう。逆に、どんな人でも、全く勉強が今までできなかつた人でも、「必ず何かのきっかけですイッチが入る」ということは、自分の経験からよくわかります。誰にでも国家試験が合格できるチャンスはあるし、また、それだけの勉強ができるということができる

その後、滋賀県の病院に勤め、そのあと大阪、その後北海道の病院と、キャリアを積み、ヘッドハンティングされて千葉科学大学に、迎えられたのです。

現在でも、学校の時の同窓生にあうと、「何で田中が大学教授なんてやってんだ」と驚かれるといえます。

また、国家試験だけが価値観ではないこともよくわかっていて、試験

を受けなくても充実した仕事についている人も少なくないのです。今日も、田中先生の研究室では、心電図の見方や臨床医学の勉強をしながら、まるで自分の部屋のように、留学生も併せて多くの人が集まって楽しそうに勉強をしています。



アジア・パシフィック減災シンポジウム・ワークショップ参加 ハワイ大学社会科学部との国際教育一般協定締結へ

君もハワイで世界の危機管理を学ばないか？



ハワイで行われたシンポジウムの様子

千葉科
学大学で
は、魅力
ある大学
づくりと
グローバル
ル教育戦
略から、
様々な国
と危機管
理につい
て共同の
活動など
その一環
として二
月二
十一日か
ら、千葉
科学
大学の東
祥三学長
宛に、ハ
ワイ州上
院議員や
ハワイ大
学より「ア
ジア・パ
シフィック
減災シン
ポジウム
・ワークシ
ョップ」
に参加す
るよう
に提案が
あった。
今回は学
長が多忙
であった
ため、危
機管理学
科の五

十嵐先生
が代わり
に参加し
たのであ
る。
ワークショップ
には、ハ
ワイ大学
社会科学
群、東北
大学国際
災害科学
研究セン
ター、ア
ジア・パ
シフィック
大学連合
、米国軍
国際人道
支援イン
ドパシフ
ィック連
携司令部
の他、国
立災害準
備訓練セ
ンターや
米国防衛
省赤十字
社本社災
害緊急救
援局など
も参加す
る大規模
なもので
あった。
シンポジ
ウムでは

①地域や
コミュニ
ティレベ
ルにおけ
る災害へ
の備えで
考えるべ
き情報共
有の在り
方。
②オール
ハザード
・アプロ
ーチ。
③より安
全な地域
をつくる
ための包
括的緊急
速報シス
テムの構
築。

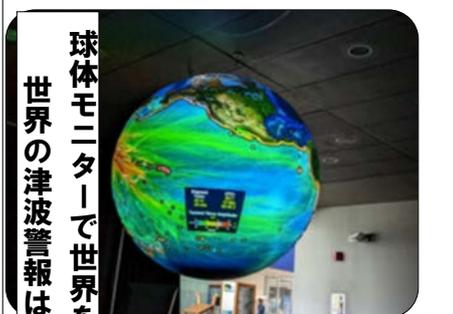
④災害減
災におけ
るマイノ
リティな
ごとの差
別をなく
す手段を
求める。
⑤①から
④のトピ
ックに関
し、代表
パネラー
が各研究
成果とと
もに発表
し、他の
参加者が
それに対
しコメント
、質問、
提案など
を行う。この
ようなこ
とで行わ
れ、当然
に千葉科
学大学も
今までの
学びの機
会から様
々な発言
の機会が
設けられ
、本学の
学びが世
界で重視
され



本学にもある記者会見演習も

ているこ
とが明ら
かになっ
たのだ。
**軍司令部
でも人を
救う学び**

学びは学
習センター
ばかりで
行われる
わけでは
ない。当
然に、「人
を助ける
」という
ことに、
職業の差
別も、危
機管理を
学んでい
れば「本
物」から
学ぶ機
会が訪れ
ることな
る。その
時に、こ
のアメリカ
軍での学
びの場が
あつてほ
しい。
「教科書
から学ぶ
ばかりが
勉強では
ない。偏
差は何も
示してい
ない。」
千葉科学
大学の教
えは国際
的にも最
先端なの
だ。



球体モニターで世界を監視
世界の津波警報はこの科学者が決める

皆の所で本格的な大学の講義



今井 信行 教授

などを学ぶ契機となるように工夫されたものを披露するということで行われている。

今回は、今井教授がハーバード大学留学中に考案した手法で、結晶の採取に「濾過ピン(今井教授考案)」という器具微量の生成物もロス無く採取できるような工夫されたものを用い、江戸川学園取手高等学校の高校生と共に実験した。

実験に参加した高校生は皆、新たな結晶の採取方法に驚くとともに、大学レベルの実験を自分たちでもできることに、自信を持ち、また、化学への興味を改めて再認識した様子で、顔が輝いていた。

本件のような出張講義は、千葉科学大学においては、申し込みがあれば、全ての学部において、小学校・中学校・高等学校などを対象に行われており、このほかにも救急救命や看護、保健医療などの出張講義を受け付けている。

令和五年三月二大学の日、千葉科学大学薬学部は今井信行教授(専門分野:触媒的不斉反応、カルボニル核酸)は、江戸川学園取手高等学校において出張実験が行われた。これは、千葉科学大学と江戸川学園取手高等学校の教育連携協定の一環として行われたもので、大学レベルの講義や実験手法を、高校生にわかりやすく指導をすることを、高校生に化学に興味を持っていただき、また薬学な



大学での実験の様子

来季に向けた第一歩 3月18日オープンキャンパス実施



こんなにたくさんの方が参加



多くの方が航空について学ぶ



老年看護に興味津々

年々、高校生が早く確実に受験を終わらせて安定して勉強をしようという、多様性の世の中になってきていると報道されている。千葉科学大学もそれに合わせて、来年度に向けて三月からオープンキャンパスを開催した。

また今回は、SNSやメールでの告知を中心に行った。また、今回は、学生の多くが春休みにあわせて、先生方も早く確実に受験を終わらせて安定して勉強をしようという、多様性の世の中になってきていると報道されている。千葉科学大学もそれに合わせて、来年度に向けて三月からオープンキャンパスを開催した。

当日は、あいにくの雨の中、そして前日までは五月の陽気だったのに急に寒が戻って寒くなったのです。しかし、当日の飛び入り参加も含め、愛知県や長野県からも参加者が来るほどの盛況ぶり。

鈿子市役所からも応援でまずは鈿子市の魅力を皆さんにご紹介し、その後、学生の代表が千葉科学大学について紹介した。

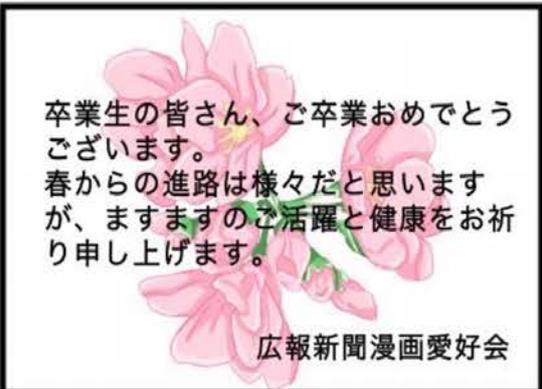
その後は見たいところを見ると、スライドで、皆さん楽しくオープンキャンパスを満喫したようです。

是非また皆さんに



鈿子市役所からも応援に!

袴姿...。

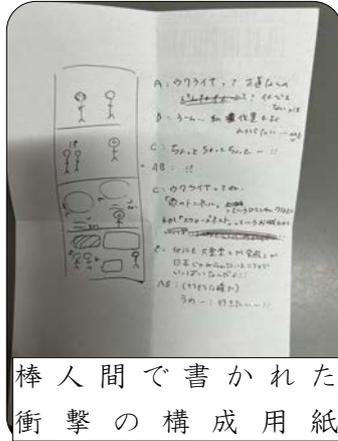


出会い



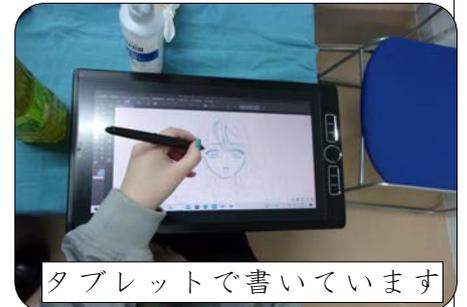
やっぱり学生が主役

広報新聞漫画愛好会
の皆さんは、いつもこの新聞で漫画を描いてくれているサークルだ。ストーリー攻勢をする人と、その絵を描く人が組んで作品を作る。「試験時期と重なると、どれくらい苦労している」とみんな思っている。確かに、愛好会の皆さんに書ける苦労は多いと思う。「何しろ、テーマも一言しか来ない。ウクライナだけ来てもそれを書いてよいかわからないんですよ。まずは調べなきゃなら



紙に用いた構成の人間棒衝

を言われていたんですけど、でも、実際に新聞とか広報とかどれく



タブレットで書いています

らい頑張ったか。皆も一緒にやってもらいたいですね」

ちなみに、千葉科学大学新聞は、様々な業界関係者も読んでいますので、意外と漫画は注目されている。某出版社からは、漫画の出版を依頼されているほど。

「もっと多くの人と一緒に仕事したいです。新しい人にも入っていただけるといいですね。」

広報新聞漫画愛好会が語る 千葉科学大学新聞裏話

「日本第一号の救急救命士」櫻井嘉信准教授最終講義



日時 2023年3月20日(月)
13時10分～(開場:11時40分)
会場 千葉科学大学マリナーキャンパス
看護学部棟2階 6201教室

参加申込方法
参加ご希望の方は、下記のURLまたはQRコードより
お申込みください。
URL: <https://pro-form-mailer.jp/fms/rf9780e1280946>

お問い合わせ先
千葉科学大学 危機管理学部 保健医療学科 櫻井研究室
rinda@cis.ac.jp TEL:0479-30-4746

最終講義
「救急救命士の創世記から現在まで」
〜これまでも、これからも〜

危険の中に飛び込んで、人の命を助ける救急救命士に、あこがれる人は少なくない。その「日本第一号」の救急救命士が、長きにわたって千葉科学大学で教鞭をとっていたのだ。その先生は、櫻井嘉信准教授。この櫻井先生が今年度で退職するにあたり、三月二十日十三時十分より、千葉科学大学六

二〇一号室において最終講義を行う。一般にも公開されているので、是非いらっしゃっていただきたい。講義の題名は「救急救命士の創成期から現在まで、これまでも、これから」である。救急救命士の歴史や、今期待されていること、そしてその心得や人を助けるための考えなど、先生の長期間にわたるノウハウが全て凝縮されている。

これで最後かと思う人。これからもたまに來ていただけるといふことなので、是非千葉科学大学で会ったら声をかけてほしい。

編集後記

今回でちょうど千葉科学大学新聞を発行して一年となりまして、二十五日には学位授与式があり、多くの人が巣立ち、そして四月になると新入生が入ってきて、新しい出会いがある時期です。さて、一年間皆さんはどんな一年でしたでしょうか。そろそろ、新型コロナウイルスも下火になってきて、やっと皆さんの本領を発揮することができるときになったのではないのでしょうか。これからが本当の勝負です。新年度に、皆さんはどんな飛躍があるでしょうか。この千葉科学大学新聞も、また大きく飛躍して皆さんにお目にかかりたいと思います。